

# 古島一雄 関係文書目録

この資料は、マイクロフィルムでの閲覧となります。  
ご請求の際には、請求票に文書名とリール番号をご記入ください。

2018年11月 PDF作成

国立国会図書館憲政資料室

## 古島一雄関係文書目録 凡例

- ・本資料群は、卷子本43巻からなる。目録は卷子本の巻数（請求番号）・それぞれの卷子本に張り込まれた順序（枝番）によって配列されている。
- ・「用紙」の項目では、罫紙、原稿用紙、巻紙、便箋、用箋、葉書等の区別を記した。
- ・本目録は、憲政資料室で保管していたカード目録から松居宏枝氏（お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科）に依頼して入力することによって、従来公開していた簡易目録の詳細化を行ったものである。
- ・平成24年4月から詳細版の目録を公開した。

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	1	1	平岡浩太郎書簡	平岡浩太郎	古島一雄	明治31年12月4日	憲政党(自由派)と山県内閣提携内事、地租増税案につき松方蔵相と面談のこと	巻紙	墨書		1通
R1	1	2	平岡浩太郎書簡	平岡浩太郎	古島一雄	明治31年10月28日	尾崎文相辞任に絡む憲政党内閣内務事情(後半は次巻)	巻紙	墨書		1通
R1	2	1	平岡浩太郎書簡	平岡浩太郎	古島一雄	明治31年10月28日	尾崎文相辞任に絡む憲政党内閣内務事情(1-2の続き)	巻紙	墨書		1通
R1	2	2	山本貴三郎書簡	山本貴三郎	平岡浩太郎	8月13日	千早正次郎立候補につき、選挙事情報告	巻紙	墨書		1通
R1	2	3	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正2年4月21日	来訪、詩一編を贈与に対する礼状	巻紙	墨書		1通
R1	2	4	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	2月20日	風邪見舞状	巻紙	墨書		1通
R1	2	5	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	6月1日	木堂氏来訪談話いたすもなお不十分、再度面談いたしたくお伝えくださったきの事	巻紙	墨書		1通
R1	2	6	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正3年5月8日	運動費五千円送付につき受領方法打合せの件	巻紙	墨書		1通
R1	3	1	井上保申書簡	井上保申	古島一雄	明治45年5月30日	別紙「皇国政務根本的矯正案」を御参考までに閲覧に供すること。	罫紙	墨書	(付)「皇国政務根本的矯正法案」、「同法案理由書」明治31年11月15日	1通
R1	4	1	奥田義人書簡	奥田義人	古島一雄	大正4年7月31日	小児病気の為老兄身上の件そのままになり居事を詫びること	巻紙	墨書		1通
R1	4	2	奥田義人書簡	奥田義人	古島一雄	明治31年7月26日	海外旅行費用に借入につき保証依頼の件	巻紙	墨書		1通
R1	4	3	奥田義人書簡	奥田義人	古島一雄	9月23日	新聞紙上行政整理に関する記事のうち奥田に関する記事は暫時御記載下されざる様願の件	巻紙	墨書		1通
R1	4	4	奥田義人書簡	奥田義人	古島一雄		富井(政章)博士銅像建立につき、新聞紙上発表見合わせ下されたきの件	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	4	5	奥田義人書簡	奥田義人	古島一雄	6月27日	筒井博士銅像云々之事	巻紙	墨書		1通
R1	4	6	奥田義人書簡	奥田義人	古島一雄		加藤氏を訪れ、面談のこと	巻紙	墨書		1通
R1	4	7	和田維四郎書簡	和田維四郎	古島一雄	明治31年5月24日	福岡日報の改良維持の件、政情報告、和田辞任の記事は事実無根なること	巻紙	墨書		1通
R1	5	1	小泉策太郎書簡	小泉策太郎	古島一雄	大正14年1月1日	加藤高明をこの議会限りで葬るべき成案をえたるのこと	巻紙	墨書		1通
R1	5	2	小泉策太郎書簡	小泉策太郎	古島一雄	大正13年4月3日	選挙に今村力三郎加勢を申出でおるのこと	巻紙	墨書		1通
R1	5	3	小泉策太郎書簡	小泉策太郎	古島一雄	14日	同行時刻約束の件	巻紙	墨書		1通
R1	5	4	小泉策太郎書簡	小泉策太郎	古島一雄	3月10日	伊豆行き予定の通知	巻紙	墨書		1通
R1	5	5	小泉策太郎書簡	小泉策太郎	古島一雄	[3月10日]	武富を紹介いたしたしとの申出了承のこと	巻紙	墨書		1通
R1	5	6	小泉策太郎書簡	小泉策太郎	古島一雄	大正14年8月11日	碁打ちに来遊されたきのこと	巻紙	墨書		1通
R1	5	7	田子軍四郎書簡	田子軍四郎	古島一雄	大正15年3月2日	寿司頂戴お礼、金の必要な時は申し越しされたき旨申し出	巻紙	墨書		1通
R1	5	8	田子軍四郎書簡	田子軍四郎	古島一雄	大正15年12月23日	小田原の蒲鉾贈呈のこと、難波君当選祝賀会招待の件	巻紙	墨書		1通
R1	5	9	田子軍四郎書簡	田子軍四郎	古島一雄	18日	御機嫌伺い	巻紙	墨書		1通
R1	5	10	田子軍四郎書簡	田子軍四郎	古島一雄	1月30日	犬養先生より手紙いただき目下考慮中なることを告げる	巻紙	墨書		1通
R1	5	11	田子軍四郎書簡	田子軍四郎	古島一雄	大正3年1月27日	御厚情感佩候も、喪中につき遠慮いたすのこと	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	5	12	田子軍四郎書簡	田子軍四郎	古島一雄	昭和4年8月25日	犬養先生負傷お見舞い状	巻紙	墨書		1通
R1	5	13	田子軍四郎書簡	田子軍四郎	古島一雄	大正2年5月7日	尊書頂戴御礼のこと	巻紙	墨書		1通
R1	5	14	靱仲次郎書簡	靱仲次郎	古島一雄	昭和2年8月24日	京浜競馬に上京の節お伺いいたすのこと	巻紙	墨書		1通
R1	6	1	陸実書簡	陸実	古島一雄	明治39年7月14日	古島と伊藤欽亮、木下との面談の件	巻紙	墨書		1通
R1	6	2	陸実書簡	陸実	古島一雄	4月7日	「帝通」に送る原稿用紙に付き内閲を請う (伊藤博文の神鞭らの運動に態度を論じた る校)	巻紙	墨書		1通
R1	6	3	陸実書簡	陸実	古島一雄		編集、分担表のこと	巻紙	墨書		1通
R1	6	4	陸実書簡	陸実	古島一雄	2日	依頼のもの手許になき故、来社して明石より 受取られたきのこと	巻紙	墨書		1通
R1	6	5	陸実書簡	陸実	古島一雄	明治38年3月4日	「ル・タン」記者日本を中傷したため「ル・マ タン」記者は従軍を禁じられ、結果「ル・マ タン」従軍許可の運動をしておる事を記事にさ れたし	巻紙	墨書		1通
R1	6	6	陸実書簡	陸実	古島一雄	9月2日	青崖の「評林」を批判し、その浅薄を難じた もの	巻紙	墨書		1通
R1	6	7	陸実書簡	陸実	古島一雄	明治39年4月13日	新機械導入による印刷上の措置について	巻紙	墨書		1通
R1	6	8	陸実書簡	陸実	古島一雄	3月18日	「旅行便覧」の組版職工の件	巻紙	墨書		1通
R1	7	1	陸実書簡	陸実	古島一雄	明治31年10月14日	九州新聞にて会計勤務者希望につき野村 莠推薦のこと	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	7	2	陸実書簡	陸実	古島一雄	2月19日	「文苑」を設け、青崖に受け持たせるべく準備のこと	巻紙	墨書		1通
R1	7	3	陸実書簡	陸実	古島一雄	12月24日	編集上のことにつき注意	巻紙	墨書		1通
R1	7	4	陸実書簡	陸実	古島一雄		蒙古来襲の絵巻物を写真にするため宮内省に交渉されたく依頼の件	巻紙	墨書		1通
R1	7	5	陸実書簡	陸実	古島一雄	明治〔31〕年12月2日	野村莠編集に採用のこと了承	巻紙	墨書		1通
R1	7	6	陸実書簡	陸実	古島一雄		青木外相は民心をまとめるため福州占領を計画中、但し内閣は未だ決せず、貴地は鎮守府近きにより注意ありたきこと	巻紙	墨書	断簡	1通
R1	7	7	陸実書簡	陸実	古島一雄	9月15日	器械も入り忙しさも増してきているに付き出版社ありたきこと	巻紙	墨書		1通
R1	7	8	陸実書簡	陸実	古島一雄		雑報の体裁云々は誤りにつき、別紙論説を起草したので載せてほしい。論説、雑報共慎重にされたい	巻紙	墨書		1通
R1	8	1	陸実書簡	陸実	古島一雄	12月12日	野村莠の旅費及び今月分俸給前払いの件	巻紙	墨書		1通
R1	8	2	陸実書簡	陸実	古島一雄	明治38年9月1日	ポーツマス講和条約につき批判、「日本」紙質粗悪なること	巻紙	墨書		1通
R1	8	3	陸実書簡	陸実	古島一雄	8月18日	社の成績不振につき挽回策相談いたしたく出版社ありたきこと	巻紙	墨書		1通
R1	8	4	陸実書簡	陸実	古島一雄	明治38年〔4〕月13日	露艦来航諸情況のこと	巻紙	墨書		1通
R1	8	5	陸実書簡	陸実	古島一雄	12月2日	東宮造営の片山訪問の件、「日本」標題改変の件	巻紙	墨書		1通
R1	8	6	陸実書簡	陸実	古島一雄	明治38年9月4日	講和問題社説の件、閣員の責迫及のこと	巻紙	墨書		1通
R1	8	7	陸実書簡	陸実	古島一雄、井上亀六	8月28日	教育者情報の記事取扱を批判し、三面記事の編集につき意見	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	8	8	陸実書簡	陸実	明石定蔵	明治38年9月2日	講和問題に関する社の方針につき意見	巻紙	墨書		1通
R1	8	9	陸実書簡	陸実	古島一雄	7月1日	校正が編輯の仕事に加わるにつき、人員の問題	巻紙	墨書		1通
R1	8	10	陸実書簡	陸実	(宛名不明)		「日本」新聞任務分担表	巻紙	墨書		1通
R1	8	11	陸実書簡	陸実	古島一雄	3月5日	神谷起草の論説(別紙なし)一編掲載されたきこと	巻紙	墨書		1通
R1	8	12	陸実書簡(断簡)	陸実	(宛名不明)		青崖の「評林」につき意見	巻紙	墨書	断簡	1通
R1	9	1	宮崎寅蔵書簡	宮崎寅蔵	古島一雄	明治45年7月15日	「滬上評論」発行計画を写し、援助を求めたるもの	巻紙	墨書		1通
R1	9	2	宮崎寅蔵書簡	宮崎寅蔵	古島一雄	大正8年5月11日	何天焜の文、日本人名士の詩文囑望につき揮毫依頼の件	巻紙	墨書		1通
R1	9	3	宮崎寅蔵書簡	宮崎寅蔵	古島一雄	大正5年11月7日	黄興の死に落胆したることを伝える	巻紙	墨書		1通
R1	9	4	宮崎寅蔵書簡	宮崎寅蔵	古島一雄	大正7年1月18日	岑青の宣、孫洪伊の談話要旨、北軍の腐敗と南方軍の強健なるを伝え、援北の無意味有害なるを伝えたるもの	巻紙	墨書		1通
R1	10	1	杉浦重剛書簡	杉浦重剛	古島一雄	明治40年4月25日	朝鮮にありて歌える詩一首を送り「日本人」誌上に載せられんことを請う	巻紙	墨書	封筒は杉浦→古島だが、手紙は杉浦とは別人と思われる	1通
R1	10	2	杉浦重剛書簡	杉浦重剛	古島一雄	9月21日	高話拝聴御礼の件	巻紙	墨書		1通
R1	10	3	杉浦重剛書簡	杉浦重剛	古島一雄	29日	別紙の事件進捗につき御配慮いただきたきのこと	巻紙	墨書		1通
R1	10	4	松見文平書簡	松見文平	杉浦重剛	大正元年11月26日	私立中学校補助金下附の件、府本合議通過のため知人議員に賛成を求めたきもの	巻紙	墨書	(付)府会議員名簿	1通
R1	10	5	杉浦重剛書簡	杉浦重剛	古島一雄	大正元年8月7日	増島氏来訪不在にて気毒千万なること	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	10	6	杉浦重剛書簡	杉浦重剛	古島一雄	明治45年1月23日	来校高話拝聴、更に前崎名糖を頂戴お礼状	巻紙	墨書		1通
R1	10	7	杉浦重剛書簡	杉浦重剛	古島一雄	明治45年3月7日	加藤氏の件御心労お礼申し上げのこと、立候補は見合わせ方よろしきの意見	巻紙	墨書		1通
R1	10	8	杉浦重剛書簡	杉浦重剛	古島一雄	大正6年6月3日	御尽瘁下された件(外交調査会設置の件カ)、具体的人選につき意見	巻紙	墨書		1通
R1	10	9	正一郎書簡	正一郎	古島一雄	11月21日	再度依頼の件、公爵の分は別紙に大浦氏の分はいずれ機をみて差し上げたくおわびのこと	巻紙	墨書		1通
R1	11	1	和田維四郎書簡	和田維四郎	古島一雄	大正6年5月30日	三田村氏江戸物語出版につき相談の件	巻紙	墨書		1通
R1	11	2	三田村鳶魚(原稿)	三田村鳶魚			角力(江戸期の角力についての歴史物語)	原稿用紙	墨書		1通(11枚)
R1	11	3	三田村鳶魚(原稿)	三田村鳶魚			火方盗賊改	原稿用紙	墨書		1通(8枚)
R1	12	1	三田村鳶魚(原稿)	三田村鳶魚			芝居(江戸物語原稿)	原稿用紙	墨書		(22枚)
R1	13	1	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正3年11月17日	木堂及一念の増帰及对意見につき批評	巻紙	墨書		1通
R1	13	2	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正2年8月13日	昨夜の電報の件	巻紙	墨書		1通
R1	13	3	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正4年3月26日	古島の最高点当選を祝す	巻紙	墨書		1通
R1	13	4	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正2年8月13日	貴翰昨夜被見、御配慮拝察	巻紙	墨書		1通
R1	13	5	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正3年5月11日	貴兄より御誠告	巻紙	墨書		1通
R1	14	1	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正6年3月16日	中野正剛来訪、立候補につき安川の態度を述べる	巻紙	墨書		1通



古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	14	2	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	頭山満	大正3年6月24日	内話の大略は別紙の如きものに願いたし、(別紙)頭山満を介しての観樹將軍との約束大略	巻紙	墨書		1通
R1	14	3	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正6年3月22日	交渉委員との面談により、中野正剛推薦問題の経緯並びに安川の態度を述べる	巻紙	墨書		1通
R1	14	4	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正4年1月6日	依頼の件、需要に応じがたく、さらに才覚されたきこと	巻紙	墨書		1通
R1	14	5	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	古島一雄	大正3年5月11日	海路上京、電話にて面談の日取りを約すべし	巻紙	墨書		1通
R1	15	1	鳥居龍蔵(素川)書簡	鳥居龍蔵(素川)	古島一雄	大正6年1月30日	議会での活躍敬服、閥族退治に努められんことを祈る	大阪朝日新聞用箋	ペン		1通
R1	15	2	長谷川萬次郎(如是閑)書簡	長谷川萬次郎(如是閑)	古島一雄	11月22日	電話架設のお世話に対し礼状	罫紙	ペン		1通
R1	15	3	城戸元亮書簡	城戸元亮	古島一雄	大正2年5月27日	来訪の折不在を謝し、併せて中国行の計画を知らせる	巻紙	墨書		1通
R1	15	4	櫻井轍三書簡	櫻井轍三	古島一雄	5月16日	松内君より古島さんとの一夕懇談の電話を受けたが病人悪化のため出席できぬむねを伝える	便箋	墨書		1通(2枚)
R1	15	5	城戸元亮書簡	城戸元亮	古島一雄	大正[2]年5月7日	犬養翁より作樂焼頂戴のこと、外遊につき相談いたしたきこと	巻紙	墨書		1通
R1	15	6	鳥居素川書簡	鳥居龍蔵(素川)	古島一雄	大正3年2月8日	三派合同は立派な仕事、憲政確立のために仁義の師をすすめたきこと	巻紙	墨書		1通
R1	15	7	鳥居素川書簡	鳥居龍蔵(素川)	古島一雄	26日	海軍シーメンス事件に対し木堂翁の態度如何、不安に感じおること	巻紙	墨書		1通
R1	15	8	三井甲之書簡	三井甲之	古島一雄	大正13年10月22日	山梨県下徳島堰水力電気事業、農民従来水利権を侵すのことにつき意見	便箋	ペン	(付)略図	1通
R1	15	9	松木周平書簡	松木周平	古島一雄	大正2年7月14日	子規遺墨一軸恵与御礼のこと	巻紙	墨書		1通
R1	16	1	犬養毅政界引退声明書			大正14年5月28日		巻紙	謄写		1通(2枚)

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	16	2	古島一雄政界引退声 明書			大正14年5月28日		巻紙	謄写		1通(3 枚)
R1	16	3	佃信夫書簡	佃信夫	古島一雄	大正14年5月28日	古島の引退を壮とし、政友会を罵り、小泉三 申を罵倒す	巻紙	墨書		1通
R1	16	4	花井卓蔵書簡	花井卓蔵	古島一雄	大正14年5月31日	自重を祈る	巻紙	墨書		1通
R1	16	5	高島米峰書簡	高島米峰	古島一雄	大正14年5月28日	政革合同には不満を感じたが、引退を知り 古島の態度に潔く敬意を払う	巻紙	墨書		1通
R1	16	6	久保田俊吉書簡	久保田俊吉	古島一雄	大正14年5月29日	古島の政界引退は天下の節義であると称揚 す	巻紙	墨書		1通
R1	16	7	鵜崎熊吉書簡	鵜崎熊吉	古島一雄	大正14年5月30日	政革合同、犬養、古島の引退も意外。しかし この決心に敬服す	便箋	ペン		1通(2 枚)
R1	17	1	野本正一書簡	野本正一	古島一雄	大正14年6月2日	古島の政界引退に驚く、特に通信事業の前 途のために痛恨に耐えず、今后よろしく御 垂教を依頼する	巻紙	墨書		1通
R1	17	2	岩城玄二書簡(浜田 国松宛)	岩城玄二	浜田国松	大正14年5月29日	浜田国松の取れる政革合同の推進の態度 を非難する	巻紙	墨書	封書上書は古島宛	1通
R1	17	3	森正蔵書簡	森正蔵	古島一雄	大正14年5月27日	政革合同の進展如何は国政及び国内人心 に大影響あると考えていたが、犬養、古島の 政界引退で雲霧一時に晴れたることを述ぶ	巻紙	墨書		1通
R1	17	4	竹内謙六書簡	竹内謙六	古島一雄	大正14年6月1日	古島の政界引退を喜ぶ	巻紙	墨書		1通
R1	17	5	[□正]雄之助書簡	[□正]雄之助	古島一雄	大正14年6月2日	古島の今までの理想選挙及び言行を賛し、 引退に及び菜根譚二句を贈る	便箋	ペン		1通(4 枚)
R1	17	6	阿部眞言書簡	阿部眞言	古島一雄	大正14年5月30日	引退を称揚し、自愛を祈る	巻紙	墨書		1通
R1	17	7	鷺尾義直書簡	鷺尾義直	古島一雄	大正14年5月29日	引退を壮とし、今後の異なった方面での活 躍を祈る	巻紙	墨書		1通
R1	17	8	高島素之書簡	高島素之	古島一雄	大正14年8月18日	古島引退に感ず、一度面会したい	二百詰原 稿用紙	ペン		1通(2 枚)

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	17	9	神宮祠前庵主書簡	神宮祠前庵主	古島一雄	大正14年6月17日	古島の引退を聞き、七言絶句一首貴覧に供す	八行罫紙	墨書		1通(2枚)
R1	17	10	葉山書簡	葉山	古島一雄	大正[13]年[8]月	古島の通信政務次官任命をねぎらうとともに、加藤高明の野望について知らせ、古島の注意をうながす	洋紙	ペン		1通(2枚)
R1	18	1	伊藤書簡	伊藤	古島一雄	大正14年5月27日	引退に敬意を表し、近日訪問したきを伝える	巻紙	墨書		1通
R1	18	2	今部資吉書簡	今部資吉	古島一雄	大正14年6月1日	引退に際し、揮毫依頼の件	巻紙	墨書		1通
R1	18	3	田中休治書簡	田中休治	古島一雄	大正14年5月17日	犬養、古島の引退をおしみ、今後の方針になやむ、杉浦重剛でもおればと思う旨	巻紙	墨書		1通
R1	18	4	白神邦二書簡	白神邦二	古島一雄	大正14年5月31日	犬養、古島の引退をいたみ、一度大阪に木堂会を開きたいが如何	巻紙	墨書		1通
R1	18	5	佐藤稠松書簡	佐藤稠松	古島一雄	大正14年5月30日	引退痛惜の辞	便箋	ペン		1通(2枚)
R1	18	6	藤井節太郎書簡	藤井節太郎	古島一雄	大正14年5月30日	改革合同、辞任、引退を痛惜する。木堂今後の行動につき意見	巻紙	墨書		1通
R1	18	7	新居與作書簡	新居與作	古島一雄	大正14年5月29日	引退のこと同情に堪えず	巻紙	墨書		1通
R1	19	1	吉富孝書簡	吉富孝	古島一雄	大正14年5月28日	犬養、古島の引退を称揚	12行青罫紙	墨書		1通(2枚)
R1	19	2	馬場直美書簡	馬場直美	古島一雄	大正14年5月29日	引退に感激、一夕お邪魔ご教示願いたきこと	巻紙	ペン		1通
R1	19	3	間宮武書簡	間宮武	古島一雄	大正14年5月28日	政界引退に驚く、揮毫願いの件	便箋	墨書		1通(2枚)
R1	19	4	木村束書簡	木村束	古島一雄	大正14年5月29日	古島一雄令嬢より手記をとり掲載したこと。その写真を載せたことを謝す	東京朝日新聞社用箋	ペン		1通(3枚)
R1	19	5	筑紫ツネ書簡	筑紫ツネ	古島一雄	大正14年5月30日	犬養、古島の引退をいたむ	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R1	19	6	青山憲正書簡	青山憲正	古島一雄	大正14年5月3日	引退し、渡支の模様、肉筆にて一報を乞う	巻紙	墨書	精考代筆	1通
R1	19	7	ラジヤ・マヘンドラ・プラ ラタブ書簡	ラジヤ・マヘン ドラ・プラタブ	古島一雄	大正14年6月3日	アフガニスタンとの友好を図るの努力を謝し、粗餐をさしあげたきこと	用箋	活版		1通
R1	19	8	木村発書簡	木村発	古島一雄	大正14年	先日郷里大震あれども何事もなし、喜び申し上げる、今回の勇退に哀情を感じる	巻紙	墨書		1通
R1	19	9	神谷春作書簡	神谷春作	古島一雄	大正14年5月30日	引退を惜しむ、閑時おとずれ碁を打ちたきのこと	葉書	墨書		1通
R1	19	10	朝倉軍司書簡	朝倉軍司	古島一雄	大正14年5月29日	引退を喜ぶ	葉書	墨書		1通
R1	19	11	松任谷喜三郎書簡	松任谷喜三	古島一雄	大正14年5月30日	古島は国民の鏡鑑なり	葉書	墨書		1通
R1	19	12	立憲政友会本部書簡	立憲政友会本 部	古島一雄	大正14年5月28日	幹部顧問会開催通知	葉書	墨書		1通
R1	19	13	石田梅吉書簡	石田梅吉	古島一雄	大正14年5月30日	引退を惜しむ七言絶句	葉書	墨書		1通
R1	20	1	太田孝書簡	太田孝	古島一雄	大正14年5月5日	政革合同批判(番号21-1に続く)	巻紙	墨書		1通
R2	21	1	太田孝書簡	太田孝	古島一雄	大正14年5月5日	政革合同批判(番号20-1続き)	巻紙	墨書		1通
R2	21	2	太田孝書簡	太田孝	古島一雄	大正14年5月30日	政界引退に感激する(番号22-1に続く)	巻紙	墨書		1通
R2	22	1	太田孝書簡	太田孝	古島一雄	大正14年5月30日	政界引退に感激する(番号21-2続き)	巻紙	墨書		1通
R2	22	2	緒方竹虎書簡	緒方竹虎	古島一雄	大正14年6月12日	大阪出張中手紙拝見、橋本にも見せる。橋本氏への意見を述べ文案中の訂正箇所を通知	朝日新聞 便箋	ペン	(付)「選挙人ニ配布スルモノ」原稿、「日本及日本人」原稿用紙	3枚(1通)

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	23	1	青山松逕書簡	青山松逕	古島一雄	大正	貴紙5頁を読みみて云々	葉書	ペン		1通
R2	23	2	川崎三郎書簡	川崎三郎	古島一雄	昭和年3月15日	大日本憲政史に犬養翁の筆跡を入れたし、書束等拝借願いの件	巻紙	墨書		1通
R2	23	3	石井清三郎書簡	石井清三郎	古島一雄	大正15年8月18日	増田節太郎氏の為揮毫をいただきたく願いの件	巻紙	墨書		1通
R2	23	4	最所文二書簡	最所文二	古島一雄	大正〔4〕年3月28日	堀田氏就職の件	巻紙	墨書		1通
R2	23	5	松岡書簡	松岡	古島一雄	4年4月18日	御懇書に対するお礼状	巻紙	墨書		1通
R2	23	6	櫻井轍三書簡	櫻井轍三	古島一雄	4年5月5日	感冒に中耳炎を併発し社を欠席しおるにつき、よろしく	用箋	墨書		2枚(1通)
R2	23	7	山之内一次書簡	山之内一次	古島一雄	昭和4年8月23日	犬養翁負傷見舞いの件	巻紙	墨書		1通
R2	23	8	杉浦久寿楮書簡	杉浦久寿楮	古島一雄	1月11日	青木競氏紹介状	巻紙	墨書		1通
R2	23	9	若宮書簡	若宮	古島一雄	大正〔12〕年11月15日	禁足につき吊門もいたさず失礼海怒下されたきこと、別紙通相に内示ありたきこと	巻紙	墨書	口上	1通
R2	23	10	吉武鶴次郎書簡	吉武鶴次郎	古島一雄	昭和カ3年5月17日	榊原鉄硯氏のこと	巻紙	墨書		1通
R2	23	11	加藤恒忠書簡	加藤恒忠	古島一雄	大正12年11月3日	令嬢の死去につきお悔状	巻紙	墨書		1通
R2	24	1	有賀長久書簡	有賀長久	古島一雄	明治44年3月7日	病氣見舞状、都筑馨六の歌稿、新聞材料として同封	巻紙	墨書	(付)都筑馨六歌稿	1通
R2	24	2	加藤恒忠書簡	加藤恒忠	古島一雄	明治43年9月22日	通信員の件了承のこと	巻紙	墨書		1通
R2	24	3	加藤恒忠書簡	加藤恒忠	古島一雄	明治44年2月27日	病氣見舞と自分の病状を伝え	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	24	4	土谷秀立書簡	土谷秀立	古島一雄	大正5年3月2日	火事見舞お礼状	巻紙	墨書		1通
R2	24	5	堀内賢郎書簡	堀内賢郎	古島一雄	明治44年1月26日	日露戦勝記念に揮毫願いたく依頼の件	巻紙	墨書		1通
R2	24	6	田中書簡	田中	古島一雄	明治45年7月29日	天皇陛下危篤、恢復を祈願しおるのこと、渡辺博士の芳一墨落手、今後とも御高配願いたきのこと	巻紙	墨書		1通
R2	24	7	長谷川久一書簡	長谷川久一	古島一雄	大正3年5月14日	鳩山君より申越の吉岡法学士就職の件	巻紙	墨書		1通
R2	24	8	石田正珍書簡	石田正珍	古島一雄	明治37年9月30日	旅順攻撃の写真の件もうしばらく待たれたきのこと	巻紙	墨書		1通
R2	24	9	猪狩又蔵書簡	猪狩又蔵	古島一雄	明治41年11月30日	斯波神話を日本人誌上に掲載いたしたきのこと	巻紙	墨書		1通
R2	25	1	布施知足書簡	布施知足	古島一雄	昭和5年1月18日	匯銀の件につき御配慮願いたきのこと	罫紙	墨書		2枚(1通)
R2	25	2	鳩山一郎書簡	鳩山一郎	古島一雄	9月15日	民間代表として頭山翁を加えること了承のこと	巻紙	墨書		1通
R2	25	3	吉武鶴次郎書簡	吉武鶴次郎	古島一雄	9月3日	揚鉄崖墨蹟御恵送に対する礼状	巻紙	墨書		1通
R2	25	4	榊原浩逸書簡	榊原浩逸	古島一雄	9月4日	犬養木堂伝執筆状は鷲尾君適任なれど、執筆中の生活費を保障すること必要なり	巻紙	墨書		2枚(1通)
R2	25	5	白岩龍平書簡	白岩龍平	古島一雄	2月14日	衆望を負ふて再出陣、勝利せられんことを祈る	巻紙	墨書		1通
R2	25	6	鳩山一郎書簡	鳩山一郎	古島一雄	昭和3年3月18日	選挙のこと、届物恵贈お礼のこと	巻紙	墨書		1通
R2	25	7	小野鷹男書簡	小野鷹男	古島一雄	昭和5年2月22日	犬養健初陣当選のこと	用箋	墨書		2枚(1通)
R2	25	8	建部遯吾書簡	建部遯吾	古島一雄	昭和4年2月20日	去13日の件は故杉浦先生の面目に関する こと、皇室にとりて重大事につき機宜を誤らざること	便箋	墨書		2枚(1通)

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	25	9	中西六三郎書簡	中西六三郎	古島一雄	昭和4年3月7日	差当りの急用につき御相談いたしたく面会依頼のこと	巻紙	墨書		1通
R2	25	10	猪狩又蔵書簡	猪狩又蔵	古島一雄	昭和4年2月27日	13日の件は朝日新聞の記事の通りにして云々(13日の件につき報告)	巻紙	墨書		1通
R2	25	11	伊藤仁太郎書簡	伊藤仁太郎	古島一雄	昭和3年5月20日	鏡崎君え書面御贈与お礼のこと	罫紙	墨書		1通
R2	25	12	浜田国松書簡	浜田国松	古島一雄	昭和5年3月7日	政友会の選挙に敗れたるは既成政党が健康体に復するためのものにて不思議なきこと。田舎名産の海藻類を贈ること	巻紙	墨書		1通
R2	26	1	稲葉庄太郎書簡	稲葉庄太郎	古島一雄	昭和5年6月22日	建白書を御一覽いただきたきこと、子供の近況報、詩稿添削依頼のこと	200字詰原稿用紙	ペン	(付)稲葉庄太郎意見書(経済政策に関するもの)	35枚(1通)
R2	26	2	天田策堂書簡	天田策堂	古島一雄	昭和3年2月22日	台湾仏教会館建設任務より島根県安国寺へ帰任の挨拶、台湾臨済宗教勢一般	用箋	活版		1通
R2	26	3	青山松逕書簡	青山松逕	古島一雄	昭和3年10月2日	『普選の戦跡を見て』の読後感	便箋	ペン		1通
R2	27	1	井上亀六書簡	井上亀六	古島一雄	大正12年8月15日	『日本及日本人』と『東方』合同に関する件	巻紙	墨書		1通
R2	27	2	大内暢三書簡	大内暢三	古島一雄	大正14年4月24日	松田源治との対話要旨	巻紙	墨書		1通
R2	27	3	菊池恭三書簡	菊池恭三	古島一雄	7月5日	旅行中の手紙ありがたく拝誦お礼の件	巻紙	墨書		1通
R2	27	4	棚橋一郎書簡	棚橋一郎	古島一雄	昭和4年8月25日	犬養先生負傷見舞状	便箋	ペン		1通
R2	27	5	井上亀六書簡	井上亀六	古島一雄	大正15年10月26日	問い合わせの医師の件につき回答、「日本及日本人」原稿依頼	巻紙	墨書		1通
R2	28	1	清水銀蔵書簡	清水銀蔵	古島一雄	昭和7年7月30日	八月二日に座能会相催につき出席ありたきのこと	巻紙	墨書		1通
R2	28	2	藤井善助書簡	藤井善助	古島一雄	昭和7年8月4日	病氣見舞	罫紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	28	3	靱仲次郎書簡	靱仲次郎	古島一雄	昭和7年8月3日	御芳書に対する礼状	巻紙	墨書		1通
R2	28	4	大橋八郎書簡	大橋八郎	古島一雄	昭和7年8月6日	暑中見舞	巻紙	墨書		
R2	28	5	米山蓬三書簡	米山蓬三	古島一雄	昭和〔7〕年	揮毫依頼の件	用箋	墨書		3枚
R2	28	6	萱野長知書簡	萱野長知	古島一雄	昭和7年7月1日	白林荘への接待感謝するも、今夏は田舎に 独居すること	便箋	墨書		3枚
R2	28	7	武居重厚書簡	武居重厚	古島一雄	昭和7年8月7日	木堂遺墨頂戴お礼の件	便箋	ペン		1通
R2	28	8	犬養健書簡	犬養健	古島一雄	昭和7年8月16日	犬養毅百ヶ日法要の件	巻紙	墨書		1通
R2	28	9	稲葉岸之助書簡	稲葉岸之助	古島一雄	9月12日	揮毫依頼の件	巻紙	墨書		1通
R2	28	10	宮島清次郎書簡	宮島清次郎	古島一雄	3月8日	貴書拝見、御希望に応ぜられぬこと	巻紙	墨書		1通
R2	29	1	石原作平書簡	石原作平	古島一雄	昭和3年2月23日	昭和3年の選挙に関し意見(犬養は辞任し て、次点者に位置をゆずるべし)	便箋	ペン		1通
R2	29	2	難波栄松書簡	難波栄松	古島一雄	昭和3年7月23日	別紙意見を奉ること(別紙次にあり)	巻紙	墨書		1通
R2	29	3	難波栄松意見書「古 島先生に上る」	難波栄松	古島一雄		犬養、古島両氏の政界における地位役割を 論ずる	巻紙	墨書	(29-2の書簡の別 紙)	13枚(1 通)
R2	30	1	伊豆凡夫書簡	伊豆凡夫	古島一雄	大正7年3月17日	シベリヤ出兵につき挨拶状	巻紙	墨書		1通
R2	30	2	福本誠書簡	福本誠	古島一雄	明治34年5月6日	和田訪問の結果を報ずる	巻紙	墨書		1通
R2	30	3	加藤恒忠書簡	加藤恒忠	古島一雄	明治44年2月24日	ジフテリアを病んだ後の経過を報ずる	巻紙	墨書		1通



古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	30	4	喜多文子書簡	喜多文子	古島一雄	2月12日	お使いのもの宅の不用意にて返したるの詫 び状	巻紙	墨書		1通
R2	30	5	伊豆凡夫書簡	伊豆凡夫	古島一雄	明治43年12月22日	琵琶湖畔に隠居いたすことを報ずるの件	巻紙	墨書		1通
R2	30	6	伊豆凡夫書簡	伊豆凡夫	古島一雄	明治44年12月3日	当選祝詞	巻紙	墨書		1通
R2	30	7	大町芳衛書簡	大町芳衛	古島一雄	4月8日	登山後援会賛助会を諾せられたるに對し礼 状	巻紙	墨書		1通
R2	30	8	杉浦重剛書簡(太田 政紅宛)	杉浦重剛	太田政紅	27日	古島一雄を紹介の件	巻紙	墨書		1通
R2	31	1	桑山鉄男書簡	桑山鉄男	古島一雄	大正14年8月14日	御下令の肩書添削の件手抜これ無きのこ と、無線会社株応募好成績なるのこと	巻紙	墨書		1通
R2	31	2	分部資吉書簡	分部資吉	古島一雄	8月9日	赤倉往訪につき、相伺いたきのこと	便箋	墨書		4枚(1 通)
R2	31	3	上島長久・對馬健之 助・志賀重四郎・柳瀬 軍之佐書簡	上島長久・對 馬健之助・志 賀重四郎・柳 瀬軍之佐	古島一雄	11月17日	長田権次郎毎日新聞島田三郎と合わず退 社いたし候も察するには貴社に採用されたく 依頼の件	巻紙	墨書		1通
R2	32	1	名和又八郎書簡	名和又八郎	古島一雄	大正7年7月16日	此度の進級は意外にて恐懼至極	巻紙	墨書		1通
R2	32	2	三好退蔵書簡	三好退蔵	古島一雄	明治34年1月7日	年賀状、書一幅御贈とお礼の件	巻紙	墨書		1通
R2	32	3	高田早苗書簡	高田早苗	古島一雄	21日	演説筆記新聞掲載承諾のこと	巻紙	墨書		1通
R2	32	4	角田眞平書簡	角田眞平	古島一雄	12月18日	貴新聞掲載の角田に関する記事につき抗 議	聴雨窓原 稿用紙	墨書		1通(2 枚)
R2	32	5	岡崎邦輔書簡	岡崎邦輔	古島一雄	大正2年8月22日	勅選議員に関する件	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	32	6	岡崎邦輔書簡	岡崎邦輔	古島一雄	大正6年5月	面談の場所と時刻の件	巻紙	墨書		1通
R2	32	7	山本悌二郎書簡	山本悌二郎	古島一雄	大正年7月13日	岡崎、横田、小泉を含む小会開催につき来宅されたきのこと	巻紙	墨書	(付)山本邸地図	1通
R2	33	1	野添宗三書簡	野添宗三	古島一雄	大正6年1月8日	総務より上京すべしの電報に接し、十日出發の予定なり	巻紙	墨書		1通
R2	33	2	井戸川辰三書簡	井戸川辰三	古島一雄	大正14年10月8日	懇書拝読の御礼、其内参上御高吟高懐えたきのこと	巻紙	墨書		1通
R2	33	3	門野重九郎書簡	門野重九郎	古島一雄	7月7日	揮毫に対する礼状	巻紙	墨書		1通
R2	33	4	白岩龍平書簡	白岩龍平	古島一雄	大正13年10月11日	対支貿易家意見とりまとめのこと	巻紙	墨書		1通
R2	33	5	江口定條書簡	江口定條	古島一雄	昭和4年9月2日	大石、仙石両老の病状報告	便箋	ペン		3枚(1通)
R2	33	6	広岡浅子書簡	広岡浅子	古島一雄	2月6日	囲碁	巻紙	墨書		1通
R2	33	7	望月長吉書簡	望月長吉	古島一雄	1月26日	病氣見舞礼状	巻紙	墨書		1通
R2	33	8	阿南書簡	阿南	古島一雄	14日	奥田同席にて加藤に談じたるのこと	巻紙	墨書		1通
R2	33	9	伊豆凡夫書簡	伊豆凡夫	古島一雄	明治42年5月29日	盲腸炎のお見舞いに対するお礼、「万朝報」兼務の由、万朝報の「机の塵」を愛読しおるのこと	巻紙	墨書		1通
R2	33	10	添田飛雄太郎書簡	添田飛雄太郎	古島一雄	明治43年1月25日	昨日話の骨拾に困りたる件、坂本にお話しなきようお願いの件	巻紙	墨書		1通
R2	34	1	岡崎邦輔書簡	岡崎邦輔	犬養毅	大正5年9月27日	大正5年選挙関係	巻紙	墨書	別紙同封	1通
R2	34	2	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	和田維四郎	大正9年3月20日	犬養の選挙資金の求めるに対し、古島に対しては5,000円だけを出すのこと	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	34	3	安川敬一郎書簡	安川敬一郎	和田維四郎	大正9年3月25日	古島の選挙資金を出すの件	巻紙	墨書		1通
R2	34	4	浜田国松書簡	浜田国松	犬養毅、古島一雄	大正 年6月8日	政府の地方攪乱策により党内の紛議も可有之、奇計を用い議令解釈に持ち込むこと必要と思考候こと、軍用金募集の件	巻紙	墨書		1通
R2	35	1	清水銀蔵書簡	清水銀蔵	古島一雄	大正14年4月25日	改革合同に関する革新倶楽部党内事情	巻紙	墨書		1通
R2	35	2	山田直夫書簡	山田直夫	古島一雄	9月22日	出席できかねるの件	巻紙	墨書		1通
R2	35	3	三浦松二郎書簡	三浦松二郎	古島一雄	4月6日	先考遺物進呈につき受納されたきのこと	巻紙	墨書		1通
R2	35	4	高石眞五郎書簡	高石眞五郎	古島一雄	大正15年3月30日	貴氏原稿の取扱について	大阪毎日新聞用箋	墨書		1通
R2	35	5	三田村鳶魚書簡	三田村鳶魚	古島一雄	大正15年11月13日	先日は久々にて参上、ご面倒をかけた	巻紙	墨書		1通
R2	35	6	差出人不明書簡	(差出人不明)	三田村鳶魚	大正15年11月12日	内務省参与官と交渉の顛末を報ずる	便箋	墨書		1通
R2	36	1	和田維四郎書簡	和田維四郎	古島一雄	明治31年9月18日	南氏転任に関する件	巻紙	墨書		1通
R2	36	2	松下丈吉書簡	松下丈吉	古島一雄	大正6年12月24日	此度の戦争につき英米は帝国主義打破を唱えておるが、講和条件に注意されたきのこと	便箋	墨書		1通
R2	36	3	河上謹一書簡	河上謹一	天台道七	12月21日	近況を報じ、旅行につき年末年始のあいさつを欠くを詫びる。古島一雄に面会の件	巻紙	墨書		1通
R2	36	4	都筑馨六書簡	都筑馨六	古島一雄	明治44年2月24日	病気見舞い	巻紙	墨書		1通
R2	36	5	都筑馨六書簡	都筑馨六	古島一雄	8月13日	万朝報紙上に病気記事出でたる為、見舞状多く困る、紙上にそれとなく病気快癒の記事を出してくれ	巻紙	墨書		1通
R2	36	6	都筑馨六書簡	都筑馨六	古島一雄	大正6年10月27日	病気見舞いに対する返礼、対露・対米方針につき注意ありたきのこと	巻紙	墨書		1通

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	36	7	都筑馨六書簡	都筑馨六	古島一雄	明治43年8月11日	日々新聞紙上の大学往時の記事誤につき指摘	巻紙	墨書	断簡	1通
R2	36	8	都筑馨六書簡	都筑馨六	古島一雄	明治43年8月14日	日々新聞連載の大学懐往記事の件	巻紙	墨書		1通
R2	37	1	柳原正彦書簡	柳原正彦	古島一雄	大正14年12月9日	東亜協会設立にあたり犬養翁総裁辞任の可能性につき打診	巻紙	墨書		1通
R2	37	2	東亜協会宣言書、綱領、会則			大正14年9月		巻紙	活版		1通
R2	37	3	東亜協会関係書類			大正14年	東亜協会理事名簿、日中聯誼会(上海)役員名簿、東亜協会会員芳名簿、同会創立経過	罫紙	墨書		11枚
R2	37	4	菊池恭三書簡	菊池恭三	古島一雄	5月25日	山陰地方惨事につき旅行中の古島に対する見舞状	罫紙	墨書	(付)新聞の切り抜き	1通
R2	38	1	芳澤謙吉書簡	芳澤謙吉	古島一雄	昭和2年9月	満州同題	巻紙	墨書		1通
R2	38	2	本庄繁書簡	本庄繁	古島一雄		「日本ト東三省」別紙送付の件	巻紙	墨書	(付)「日本ト東三省」(罫紙10枚)	1通
R2	39	1	柚木周平書簡	柚木周平	古島一雄	大正15年11月11日	今度の柚木の行功につき心配下されたよし、詳細は後程申述のこと。別紙元老に送付のこと	巻紙	墨書		1通
R2	39	2	柚木周平(松島遊廓事件)	柚木周平	古島一雄	大正15年11月8日	松島遊廓事件に関し、若槻礼次郎告訴のこと	巻紙	謄写		1通
R2	39	3	柚木周平・箕浦勝人告訴状(松島遊廓事件)	柚木周平・箕浦勝人	金山季逸		松島遊廓事件、若槻礼次郎、川崎卓吉に対する告訴状	用箋	活版		4枚(1通)
R2	39	4	枡本卯平書簡	枡本卯平	古島一雄	5月24日	日本将来の方向として産業立国を示唆し自己の見解を述べる	便箋	ペン		6枚(1通)
R2	39	5	枡本卯平意見書(所謂経済的軍備ノ一端ニ就テ)	枡本卯平			所謂経済的軍備の一端に就いて	用箋	蒟蒻版		3枚(1通)

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R2	40	1	柚木周平書簡	柚木周平	古島一雄	4月14日	高浜虚子揮毫短冊を送ること	巻紙	墨書		1通
R2	40	2	立原任書簡	立原任	古島一雄	[大正13]年3月15日	電力供給区域撤廃のこと	罫紙	ペン		1通
R2	40	3	電力供給区域撤廃反対電力制限ニ関スル陳情書		古島一雄	大正12年12月23日	電力供給区域撤廃反対電力制限に関する陳情	巻紙	謄写		3枚
R2	40	4	今井田清徳書簡	今井田清徳	古島一雄	7月14日	御督励をいただきお礼の件	巻紙	墨書		1通
R2	40	5	永峰秀樹書簡	永峰秀樹	古島一雄	明治39年12月27日	「日本人」一部寄贈お礼の件、武士道につき自説を述べる	巻紙	墨書		1通
R2	40	6	阿部眞吉書簡	阿部眞吉	古島一雄	大正14年9月24日	金子雪斎死去のこと	巻紙	墨書		1通
R2	40	7	茅原華山書簡	茅原華山	古島一雄	大正5年6月	世道人心の頹廢につき意見	巻紙	墨書		1通
R3	41	1	三浦勝太郎・斉藤信・井上亀六書簡	三浦勝太郎・斉藤信・井上亀六	古島一雄	明治39年7月29日	伊藤欣亮社長に対する交渉事件を書し、強硬交渉を依頼するの件(「日本」新聞分裂問題)	巻紙	墨書		1通
R3	41	2	福沢諭吉手書写				慶応義塾拡張のための借金申し込み書	日本及日本人原稿用紙	墨書		1通
R3	41	3	高石眞五郎書簡	高石眞五郎	古島一雄	大正15年3月9日	病氣見舞	大阪朝日新聞用箋	ペン		1通
R3	41	4	伊藤松雄書簡	伊藤松雄	古島一雄	大正3年9月23日	御名案拝承	巻紙	墨書		1通
R3	41	5	難波清人書簡	難波清人	古島一雄	[昭和]3年7月17日	木堂会の幹事委員及尽力者に礼状を出されたきのこと	便箋	ペン		4枚(1通)
R3	41	6	薬師寺志光書簡	薬師寺志光	古島一雄	大正15年1月11日	欧州留学近況報告	用箋	ペン		1通

古島一雄関係文書目録

リール番号	資料番号	枝番号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R3	41	7	大山国太郎履歴書	大山国太郎		明治35年4月	大山国太郎履歴書	巻紙	墨書		1通
R3	41	8	大崎藤次意見書(海軍廓清問題)	大崎藤次		大正3年2月21日	海軍廓清問題	罫紙	鉛筆		6枚
R3	42	1	呉郎書簡	呉郎	古島一雄	大正8年11月25日	福州事件各界大会模様	罫紙	墨書	(付)中国抵抗を示す封筒4枚	4枚(1通)
R3	42	2	自得会書簡	自得会	古島一雄		瀬越憲作、喜多文子対戦囲碁譜	巻紙	活版		1通
R3	42	3	鎌田三郎兵衛書簡	鎌田三郎兵衛	古島一雄	大正15年10月25日	別紙封入の福沢諭吉の筆跡写真は真筆かどうか、犬養閣下に鑑定願いたい	巻紙	墨書	(付)洛陽古義堂の古書目録	1通
R3	42	4	伊藤金次郎書簡	伊藤金次郎	古島一雄	昭和2年5月6日	犬養先生の「らく焼」頂戴お礼状	大阪毎日新聞用箋	ペン		3枚(1通)
R3	42	5	湯浅栄子書簡	湯浅栄子	古島一雄	2年4月7日	福岡に来られる由、お待ち申し上げおること	巻紙	墨書		1通
R3	42	6	桜田文吾書簡	桜田文吾	古島一雄	明治31年11月18日	福岡日報の原稿「敏ズル」「鈍ヂキ」云々	原稿用紙	墨書		4枚(1通)
R3	43	1	日本電気株式会社関係書類				(1)役員名簿、(2)重役名簿、(3)株主名簿、(4)第三十九回営業報告、(5)新聞切抜	罫紙他	墨書、ペン、蒟蒻版 他		5通
R3	43	2	添田飛雄太郎書簡	添田飛雄太郎	古島一雄	大正13年8月19日	例件に付書類差上げ、詳細は大竹電話にて話すこと	巻紙	墨書		1通
R3	43	3	(断簡)				郵政省内部事情	巻紙	墨書	断簡	1通
R3	43	4	逋信省入札者名簿・外				逋信省入札者名簿、日本電気株式会社回答	巻紙・罫紙	墨書、ペン		
R3	43	5	覚書			大正〔13〕年9月10日	日本電気K. K提出願書は大臣又次官の手許にとどめおかれたきこと。東京電話局の利権に関すること	罫紙	墨書		1通
R3	43	6	薬師寺志光書簡	薬師寺志光	古島一雄	大正14年2月4日	ベルリンの近況報告	用箋	ペン		6頁(1通)

古島一雄関係文書目録

リール 番号	資料 番号	枝番 号	標題	作成者	宛先	年月日	内容摘記	用紙	記述法	備考	数量
R3	43	7	三輪詩稿	三輪				葉書	墨書		1枚
R3	43	8	伊藤金次郎書簡	伊藤金次郎	古島一雄	大正15年11月9日	ヨーロッパ旅行中の印象を記す	絵葉書	ペン		1枚